

## ステンレスと女性 (各種ステンレスの特性)

- ◎ ステンレス鋼とは、鉄に主としてクロームやニッケルを加えた合金鋼で、種類が多いが、13クローム・18クローム・18-8鋼の3つの型が基本になっている。  
ステンレス鋼は、一般的に、錆びにくく美しい白い鋼で、女性的金属と言われているが、なるほどいろいろ共通な点がある。
- ◎ 鉄にクロームを加え錆がでにくくなる限界が13%。13クローム鋼13才で、ステン(女性)の仲間入りである。多少黒味があり炭素量の多いものは、焼入れができるので、錆びない刃物などになる。
- ◎ 18クローム、18歳の娘盛り、柔かく加工しやすいが、熱のかけ過ぎは禁物である。硬くなるより割れやすい。熱をかけなければすなおである。
- ◎ 18-8鋼、ニッケルを8%含んでいて錆に対し非常に強い。26才の女盛り、柔かく曲げ、絞り、溶接等の加工が自由である。芯が強く加工に力を要する。炭素量を多くして焼入れしても硬くならず反って劣化させる。この浮気っぽい炭素は熱をかけずに冷間加工すると硬くなる働きをする。スプリング等はこの加工硬化性を利用する。  
18-8鋼は熱をかけても割れたり硬くはならないが、局部的に熱がかかるとふくれがでる。このふくれはなかなかやっかいなもので、この点も女性的?である。
- ◎ **ネグロスには、屋外用として錆に強い、18-8鋼SUS304を使用した、パイラッククリップ、ダクタークリップ等ステンレス製品が多数用意されています。**

(製造 篠原)